

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那南高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月11日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 恵那南高等学校会議室  
開催にあたり、委員による明智小学校との土曜交流授業参観を実施した。
- 4 参加者

|        |        |                   |      |
|--------|--------|-------------------|------|
| 会 長    | 鈴木 康博  | 元県立高等学校長          |      |
| 副会長    | 渡辺 康正  | 明知鉄道株式会社代表取締役     |      |
| 委 員    | 伊藤 勝彦  | 元明智中学校校長・恵那市議会議員  |      |
|        | 平崎 孝文  | 明智振興事務所長          |      |
|        | 根崎 育郎  | 本校同窓会長            |      |
|        | 中村 光代  | 恵那市立明智中学校長        |      |
|        | 塚田 直子  | 恵南商工会女性部部長        | (欠席) |
|        | 足立 伊公子 | えな健幸生活支援隊事務局長     |      |
|        | 吉村 千夏  | 恵那南高等学校PTA役員      | (欠席) |
| オブザーバー |        |                   |      |
|        | 水野 正敏  | 岐阜県議会議員           |      |
|        | 岡田 庄二  | 恵那市教育長            | (欠席) |
|        | 林 尚志   | 県立学校地域創生キャリアプランナー |      |
| 学 校 側  |        |                   |      |
|        | 安藤 範和  | 校長                |      |
|        | 鬼頭 克好  | 教頭                |      |
|        | 古田 智春  | 事務長               |      |
|        | 河村 拓士  | 教務主任              |      |
|        | 遠藤 龍一郎 | 生徒支援部長            |      |
|        | 小栗 優来  | 進路支援部長            |      |
|        | 樋田 友直  | 総合学科主任            |      |

### 5 会議の概要

#### (1) 本校の現状と取組について

- ① 学校評価アンケート(保護者・生徒)について
- ② 各分掌のこれまでの取り組みについて
- ③ 今後の動向について
- ④ 本校への提言

## (2) 本校への提言

意見1：非常に落ち着いた学校生活を送り、地域になくてはならない高校になっている。

HPの更新数も県下で上位であるのでこれを受験者数増加につなげたい。

意見2：来年度から恵南の5つの中学校が統合されるので6年間の学びを通した連携ができるように同窓会を中心に恵那市教育委員会に出向いてお願いに行ってきた。

意見3：今後、中高一貫校への方向性を出していけるとよいのではないかな。

意見4：恵南の5つの中学校が1つに統合されることだけで大変なのでまずは連携できることを提案していくことが大切になると考える。

意見5：どんなところが連携できるかを考えてお互いの共通理解を深めることで達成できると考える。

意見6：恵那南高校の魅力を子供たち（生徒）が評価すると伝わりやすいのではないかな。

⇒1月の発表会に参加していただいたり、翌日のオンライン配信にて参加していただいたりして積極的に働きかけていますが更にブラッシュアップさせていきたい。

ぜひ、1月の発表会に多くの参加を促して欲しい。

意見7：現在、統合に向けていろいろな検討がなされている最中である。

「ふるさと学習＝地域学習」については各学校での行事があり、それぞれの地域の学びをしたいので困難な点が多いのではないかな。

内容を精査していく必要があるため、地域の文化財の取り扱いを検討しているところである。

意見8：中学校時代までに様々な背景を持った生徒を受け入れ成長していることや、総合学科の良さをアピールできる方法を探していくとよいのではないかな。

意見9：恵那南高校と協力してやっていきたいと感じてもらえるようにどのようなことができるのかを考えて提案していく必要があるのではないかな。

意見10：中学校が行っている地域学習を高校も一緒に活動できると地域が元気になるので連携を考えていくのはどうか。

高校側から「一緒にやろう」という提案ができるとスムーズに進められるのではないかな。

意見11：中学校のインターンシップとデュアルシステムをリンクさせて展開したり、高校では就職希望者全員にデュアルシステムを選択させたりしていくのはどうか。

意見12：地元企業への就職者が増加しているのは非常にありがたいと考える。

地元の商工会とさらに協力しながら充実した授業を展開してほしい。

意見13：恵那南高校は学びよりも面倒をみってくれる学校というイメージがついてしまっているのではないかな。

これだけいろいろなことを行っているのに上手くアピールできていない。

⇒HPの更新やInstagramによる配信、学校だよりの配布などを徹底しているがなかなか受検者数の増加にはつながらないのが現状である。

また、少人数学級による指導や演劇ワークショップやデュアルシステムなどの体験的な学習も多く取り入れながら魅力ある学校づくりをしている。

意見14：本日の会議前の小学生との土雛づくりの交流授業など様々な交流授業で浪漫学園構想が展開されているのでさらに発展させてほしい。

意見15：本県でも中高一貫校が4校程あるが定員充足率が必ずしも高い学校ばかりではない。

周辺の状況や登下校の利便性などによっても大きく違いがある。

したがって、今すぐに中高一貫について考えるのではなく、まずはやれることをよく考えて提案して少しずつ広げていくことが賢明であると考え。

## 6 会議のまとめ

- ・学校評価アンケートの考察を行った。アンケートでは保護者及び生徒から概ね高い評価を得ているが改善点もあった。課題となった点についてはあらかじめ職員で共有し、今後の学校運営に生かしていきたい。
- ・会に先立ち地元小学校との交流授業参観を実施したが、コミュニケーション力向上について高い評価を得た。今後も継続して交流授業をアピールしていきたい。
- ・当校の今までの取組、今後の取組に対しては概ね良い評価が得られた。特にデュアルシステムに対しては関心も期待も高い。
- ・良い取組が地元の中学生やその保護者には浸透してきたが、少子化の中、入学志願者数の増加には限界があるが積極的に当校から連携を呼び掛けていくことが課題である。
- ・今後、浪漫学園による地域の学校間の学び合いをどのようにしていくのか当校としての考えをさらに検討していく。